

脱炭素実現の都市間連携

3市と共同提案

オリコンサル

オリエンタルコンサルタン

ツは、環境省の「令和4年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」に札幌、川崎、大阪の3市とそれぞれ共同提案し、いずれも採択された。

札幌市とはモンゴルのウランバートル市、川崎市とインドネシアのバンドン市、大阪市とはフィリピンのケソン市で、それぞれの都市が抱えるCO₂排出に関する課題を、本邦技術を活用することで解

決につなげていく。

この委託業務は、日本の自治体を持つ技術やノウハウを海外展開し、海外都市の脱炭素社会形成を支援するもので、事業は3年計画で実施する。

3年目となるウランバートル市では、札幌市の取り組みを生かした寒冷地での脱炭素型建築の仕様と地域熱供給システムの促進・案件形成に向け、具体的な本邦技術の活用スキーム検討や制度設計などを行う予定だ。

交通渋滞や大気汚染への対策、環境配慮型の建物普及を目指すバンドン市は2年目に入り、1年目に整理した当該都市の課題を踏まえ、本邦技術や施策の同市への展開に向けた検討を行う。

2022年度新たに事業採択されたケソン市は、温室効果ガス排出が多い建物や交通分野に対し、施策や各種システムの現状などを調査して具体的な課題を洗い出す。

同社は、海外の都市事情に精通している点を生かし、各都市の課題の抽出・特定、本邦技術とのマッチングと導入に向けた各種施策や仕組みづくりを支援していく。